

まちづくり交付金 事後評価シート
いまよう・そうかしゆくちく
今様・草加宿地区

平成21年12月

そうか
埼玉県草加市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	埼玉県		市町村名	草加市		地区名	今様・草加宿地区			面積	90ha		
交付期間	平成17年度～21年度		事後評価実施時期	平成21年度		交付対象事業費	6,352百万円	国費率	0.446				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	地域生活基盤施設：(仮称)綾瀬川左岸広場公園、(仮称)神明シティスポット、道しるべ設置事業 高品質空間形成施設：(仮称)今様・草加宿歴史散策路										
		提案事業	地域創造支援事業：今様・草加宿エリアマップ作成(旧町地区、草加松原地区) 事業活用調査：歴史的建造物活用調査(旧町地区)、綾瀬川左岸地区基本計画策定調査(綾瀬川左岸地区) まちづくり活動推進事業：ライトアップ事業(社会実験)(旧町地区、草加松原地区)										
		事業名					削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし										
		提案事業	事業活用調査：旧街道街並み景観形成検討調査				「草加市景観計画・景観条例作成業務(関連事業に追加)」の中で一体的に策定するため削除		影響はあったが軽微であった				
	新たに追加した事業	基幹事業	地域生活基盤施設：あじさい公園、歴史散策路休憩スポット、おせん公園 高質空間形成施設：草加駅東口駅前広場バリアフリー化整備(石畳舗装、バリアフリー)				今様・草加宿の玄関口である草加駅前を安全で快適な歩行空間とするため、平成18年に計画変更して追加		影響はあったが軽微であった				
		提案事業	都市再生整備計画事後評価調査				事業期間完了に伴い追加		影響はあったが軽微であった				
	交付期間の変更	当初	平成17年度～21年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-						
		変更	なし										
	2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度	達成見込み				
指標1		広場公園利用者数	人／日	400	H16	500	H21		581	○	あり なし	公園を含む、周辺環境の整備が行われ、憩いの場や散策コースとして利用が進んでいる。	平成22年12月
指標2		来街歩行者数	人／日	256	H16	300	H21		258	△	あり なし	事業が進み、施設等が整備されつつあるが、平成21年度に完了する事業が多く、回遊性の向上として大きな効果は事業完了後となる。	平成22年12月
指標3		満足度(印象)	%	36	H16	43	H21		29	×	あり なし	個々の施設や商店街の魅力向上につながるような直接的な事業が少なく、満足度(印象)の向上に大きな効果が生じなかった。	平成22年12月
指標4		今様・草加宿の認知度	%	30	H16	40	H21		35	△	あり なし	多くの事業や効果的なPRにより、地区一帯において認知度が高まりつつあり、今後市外へのPRによりさらなる効果が見込める。	平成22年12月
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標	1年以内の	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	達成度※1	達成見込み				
	その他の数値指標1	ガイドマップを設置した箇所数	箇所	95	H17				135			今様・草加宿の認知度向上により、市内のみならず市外及び県外でのPRの必要性が高まったため。	-
その他の数値指標2	旧町地区を中心とした「宿場まつり」参加者数	人	70,000	H17				80,000			今様・草加宿の認知度向上が、地区内の代表的な祭りである「宿場まつり」の参加者増に結びついた。	-	
4)定性的な効果発現状況	○地区内に週2・3回以上訪れている方が約60%以上、また地区内を訪れた理由として買い物や散歩という方が約55%いる状況であり、認知度は高まっている。 ○買い物や散歩をする歩行者が安心して快適なまちになること、また商店街の活性化や、旧道のにぎわいが望まれている。 ○市民団体である「今様・草加宿」実行委員会については、平成15年9月から現在まで、魅力的で個性的なまちづくりの実現に向け、地区の再生に取り組み、現在50名以上の会員を有し活動を継続している(平成21年から「今様・草加宿」市民推進会議に名称変更し、自主的・自立的なまちづくり活動団体となる)。 ○市内にある獨協大学により、観光資源としての活用やにぎわいづくり等のまちづくり交付金の効果分析とPRを目的に、古い町屋の保存・活用の必要性について調査を行った。												
5)実施過程の評価	実施内容					実施状況					今後の対応方針等		
	住民参加プロセス	街並み空間のあり方等の検討				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	学識経験者等の第三者で構成する景観審議会を平成20年10月に設置し、景観計画及び景観条例の適正な運用を図っている。	
		住民参加プロセス	今様・草加宿地区内の整備等に関する検討				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	地区内全般的な将来的なまちづくりに対する検討会を継続して行い、市民参加のまちづくりを実現して行っていく。
	住民参加プロセス		市民との協働によるシバザクラの植栽及び維持管理				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	毎年シバザクラをきれいに咲かせ、市の名所として来園者の増加を図るための財源の確保。
		住民参加プロセス	宿場まつり検討会の実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった					●	宿場まつりに対する検討会を継続して行い、市民参加のまちづくりを実現していく。

様式2-2 地区の概要

今様・草加宿地区（埼玉県草加市） まちづくり交付金の成果概要

まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
大目標：歴史や文化、景観資源を活かした個性と活気にあふれた都市軸の賑わいの創出と魅力ある地域拠点の形成 目録①綾瀬川沿いの景観資源を活かした魅力ある地域拠点の形成。 目録②旧街道の歴史を感じ、ゆったり楽しく歩ける安全で快適な街づくり。 目録③今様・草加宿事業の推進に向けた市民参加と協働の促進。		広場公園利用者数	単位：人／日	400	H16	500	H21	581	H21
		来街歩行者数	単位：人／日	256	H16	300	H21	258	H21
		満足度（印象）	単位：％	36	H16	43	H21	29	H21
		今様・草加宿の認知度	単位：％	30	H16	40	H21	35	H21
			単位：						

「今様・草加宿地区」の中心に位置する結節点について、回遊性を高めるための魅力あるスポットづくりや、安全で快適な歩行空間を確保するための再整備を進め、まちの賑わいが連続するような整備が必要である。

旧町地区については、空き店舗や古民家等を活用した事業推進情報発信拠点を整備し、併せて地区内に存する観光資源と連携した街づくりを進め、市内外からのさらなる集客を見込むことが必要である。

基幹事業のみならず提案事業と一体の地区内整備を推進してきたことで、魅力のスポットづくりや快適な歩行空間の確保が図られてきたが、回遊性という面では課題がある。さらに賑わいが面的に広がるよう一層の回遊性の拡大を図っていくとともに、市内外に情報を発信していく必要がある。

今後のまちづくりの方策（改善策を含む）

- 綾瀬川左岸広場の防災機能の充実
- 旧町地区の商店街の賑わいと安全で快適な歩行空間の確保
- 地区中心地で情報発信できる拠点の整備
- 地区内を散策する人の回遊性の向上と、商店街を始めとする区域内の賑わいづくり
- 地区外からのネットワークの確保
- 新旧住民によるまちづくりへの参加意識の醸成と環境整備